

区政会議(全体会)に関するアンケート集計結果(西成区)

1. 西成区区政会議は、現在、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされているか。

選択肢	回答数	占有率	有効回答数	26
ア. 思う	6	23.1%	肯定的意見 割合	80.8%
イ. やや思う	15	57.7%		
ウ. あまり思わない	4	15.4%		
エ. 思わない	1	3.8%		

2. 3. 区政会議のより活発な意見交換に向けた課題と、改善のための取組や工夫

有効回答数 (課題に○をつけた人数)	23
-----------------------	----

選択肢(課題)	回答数	占有率 (複数回答可のため、割合の総合計は100%を超えます。)	改善に向けた 取組・工夫にかかる意見
ア 会議前に、十分資料を読み込む時間がない。	8	34.8%	・十分資料を読み込む時間を考慮して早期に資料送付する(2週間は欲しい)
イ 資料が多すぎる、または分かりにくい。	6	26.1%	
ウ 意見を述べるために前提となる区の現状や行政のしくみ等についての知識が不足している。	9	39.1%	・特定課題について勉強会を開催 ・各分野における課題に関する学習会および国や自治体の制度についての学習会がもっとあれば。
エ 会議中に発言できる機会や時間が少ない。	2	8.7%	・コロナの関係もあり会議時間が短くなっていた。できれば2時間位が適当ではないか。
オ 特定の人だけが発言している。	2	8.7%	
カ 意見交換を行いやすい配席になっていない。	1	4.3%	
キ 区役所側の説明が長く、意見交換をする時間が短い。	2	8.7%	・区政報告的な事案を減らし、政策検討的な議案を増やし、委員の意欲を高める
ク 区政会議の開催回数が少ない。	3	13.0%	・コロナ禍のため、書面のやり取りが多く、生の声が聞こえてこない。オンライン会議も委員全員が参加できるか疑問。書面で意見を求めるのも、返すのも簡単にし、報告書式は別途作成し配付してほしい。
ケ 意見を述べても、区役所側から明確な回答が期待できない。	0	0.0%	
コ 意見を述べても、それがどう取り扱われているかが分かりにくく、区政に参画しているという実感が持てない。	3	13.0%	
サ 実質的な議論が部会で行われており、本会議ではその報告が中心となるため、他の部会の議題について意見を述べづらい。	5	21.7%	・人数が多く、報告内容も多いため意見が発表されにくい。少人数の部会を増やす、又は優先順位の低い報告を短くしてもいいのではないかと思う。 ・部会の報告を行う際、他部会の委員からの質問、意見等議論を行う時間をもう少し長く取れればいいと思う。
シ その他	3	13.0%	・会議が開催できない場合、達成しにくい課題等については、全体的なアンケートだけでなく「検討事項」や「課題」の提示→これに対する委員からの意見というやりとりが必要では。 ・部会の議題だけでなく、自分の地域のことも議論して欲しい ・課題ごとの勉強会等をしてほしい

4. 区政会議において、意見や要望、評価について、適切にフィードバックがおこなわれているか。

選択肢	回答数	占有率	有効回答数	26
ア. 思う	9	34.6%		
イ. やや思う	15	57.7%		
ウ. あまり思わない	1	3.8%	肯定的意見 割合	92.3%
エ. 思わない	1	3.8%		

5. 4について、なぜそのように思うか。

- ・それぞれの質問に対し、区役所担当職員から理解できるよう説明している。
- ・提案内容が反映されていると感じたから
- ・意見等色々な情報が出ている
- ・この4年間の経験で区役所職員がずいぶん努力しているように感じる
- ・西成区民として日々の暮らしの中で、住み良くなった安心安全なまちを実感できる
- ・区政会議での意見等は、報告でフィードバックされていると思う
- ・区の対策案が出されている
- ・意見や質問等の内容や対応が明確にしめされて、適切にフィードバックが行われている
- ・意見に対して回答できていると思ったから
- ・意見等につきましては、丁寧なご説明をいただけるため
- ・意見票にも適切に回答して頂き、このままでいいと思う

6. その他意見等

- ・意見や要望がどのように反映されているのかわかりにくい。
- ・対応の進捗状況を資料で明示
- ・西成区区政会議の重点取組経営課題での配分予算の80%があいりん地域への事業費となっていた。
- ・西成区全体の取組で重点取組経営課題を時点修正して取組んでいない。(あいりん地域の課題改善を踏まえ西成区全域へ改善活動の水平展開を希望する。)
- ・西成区に若者や子育て世帯を呼び込むため、天下茶屋のスーパー跡地又は、新今宮駅前の公共施設跡地に小児科、産婦人科を備えた総合病院を作って欲しい。また、総合病院を作って余った土地にマンションを建てて欲しい。
- ・このアンケートを集計して今後どのように生かすのか。アンケートの内容は毎回同じ内容か。
- ・委員の中で一言も発言がなく、意見票の提出のない方がおられる。10月から新メンバーになるので新委員にこれまでの区政会議の検討を説明し、理解を深めていただきたい。
- ・課題ごとの勉強会等をしてほしい
- ・特区構想はあいりん地区が中心ですが、現在はあいりん地区内の問題だった事が、他地区に広がっていると思います。
- ・委員の皆さんは区政会議内容等について理解をしているのか。もっと気楽な気持ちで意見等を発言出来れば、委員になり内容等を少し理解できた。
- ・西成区としてはたくさんの企画行事を取り組んでいる今後地域住民等の連携を強化して欲しい。
- ・西成区の沢山の方々に理解、参加が必要。住んでよかったと魅力ある西成、もっと広報誌等でPRしては。
- ・区の概要を資料として配付
- ・自由討議の場の設定

区政会議(部会)に関するアンケート集計結果(西成区)

【部会】

1. 西成区区政会議は、現在、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされているか。

選択肢	回答数	占有率		
ア. 思う	7	26.9%	有効回答数	26
イ. やや思う	15	57.7%		
ウ. あまり思わない	3	11.5%	肯定的意見 割合	84.6%
エ. 思わない	1	3.8%		

2. 3. 区政会議のより活発な意見交換に向けた課題と、改善のための取組や工夫

有効回答数 (課題に○をつけた人数)	24
-----------------------	----

選択肢(課題)	回答数	占有率 (複数回答可のため、割合の総合計は100%を超えます。)	改善に向けた 取組・工夫にかかる意見
ア 会議前に、十分資料を読み込む時間がない。	6	25.0%	・区政会議の開催前に希望者への資料の内容を説明してほしい
イ 資料が多すぎる、または分かりにくい。	3	12.5%	・会議資料の文字が大きくなり読みやすくなった
ウ 意見を述べるために前提となる区の現状や行政のしくみ等についての知識が不足している。	8	33.3%	・基礎知識的な内容を各区比較できる資料を配付して欲しい ・各分野における課題に関する学習会および国や自治体の制度についての学習会がもっとあればと思う。 ・特定課題の勉強会の開催(子育て・教育問題)
エ 会議中に発言できる機会や時間が少ない。	0	0.0%	
オ 特定の人だけが発言している。	4	16.7%	
カ 意見交換を行いやすい配席になっていない。	2	8.3%	今はコロナのため、間隔を空けての場になっているが、終息したらグループワークで少人数(3~4人)での話し合いも良いかと思う
キ 区役所側の説明が長く、意見交換をする時間が短い。	1	4.2%	区政報告的な事案を減らし、政策検討(立案につながる段階)的な議案を増やし、委員の意欲を高める
ク 区政会議の開催回数が少ない。	7	29.2%	・自由に意見交換するには、開催回数が少ない ・自由討議の場の設定 ・コロナ禍のため、書面のやり取りが多く、生の声が聞こえてこない。オンライン会議も委員全員が参加できるか疑問。書面で意見を求めるのも、返すのも簡単にし、報告書式は別途作成し配付しては。
ケ 意見を述べても、区役所側から明確な回答が期待できない。	0	0.0%	
コ 意見を述べても、それがどう取り扱われているかが分かりにくく、区政に参画しているという実感が持てない。	4	16.7%	
サ その他	4	16.7%	・コロナ禍により会議が開催できないため ・コロナ禍の影響のため意見交換の時間が少なかった。 ・あいりん地域まちづくり会議の情報提供が少ない。(ホームページには十分な資料掲示があった。)

4. 区政会議において、意見や要望、評価について、適切にフィードバックがおこなわれているか。

選択肢	回答数	占有率	有効回答数	26
ア. 思う	10	38.5%		
イ. やや思う	13	50.0%		
ウ. あまり思わない	2	7.7%	肯定的意見割合	88.5%
エ. 思わない	1	3.8%		

5. 4について、なぜそのように思うか。

<ul style="list-style-type: none"> ・解りやすい説明が担当者よりある ・対応の進捗状況を資料で明示 ・提案内容が反映されていると感じたから ・この4年間の経験で区役所職員がずいぶん努力しているように感じる ・フィードバックされていると思う ・議事録等を作成している ・区の対応が出ているから ・意見や質問等の内容や対応が明確にしめされて、適切にフィードバックが行われている ・意見交換できていると思ったから ・個別課題であっても、丁寧にアドバイスやご説明をくださることもあるため ・今年度はコロナ感染対策により会議中止があり資料での理解が難しいと感じた ・あいりん地域まちづくり会議の別次元成果を西成区特区構想部会に編入しているため、意見が出ないことが原因と思う。

6. その他意見等

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで皆とも話す機会も少ない会議であるが、人と人のつながりを深く持つことで会議も活発、意見も出るのではと。 ・参加する部会を選ぶ際、その部会で何をやりたいのかを事前に確認した方がよいと思う。 ・意見交換や討議が自由に行える時間を充分に取ってほしい。いつも説明が長く時間切れになっている ・会議が開催できない場合、達成しにくい課題等については、全体的なアンケートだけでなく「検討事項」や「課題」の提示→これに対する委員からの意見 というやりとりが必要ではないでしょうか。 ・あいりん地域まちづくり会議の結果報告されるが、経過がわからないので意見が出ない。意見を言っても難しい西成特区構想部会となっている。 ・部会の重点取組課題が西成区全体の取組であると説明されたが具体的な取組と予算から判断するとあいりん地域限定となっている。 ・西成区全体の取組とあいりん地域の取組を分離して取り組んだ方がよいように思う。 ・西成区の目標、西成区の使命、基本的な考え方は本当に素晴らしく、区役所の方々の努力にはうれしく思っています。住んで良かった西成！下町の太陽の様に人情深い、もっともっと素晴らしい西成に。
--